C・C・C
Create Communicate Challenge

令和 5年 7月 6日(木)
国立市立国立第三中学校
第1学年 学年通信 No.6

1 学期も残りわずかとなりました。

5月の「体育祭」、6月の「期末考査」が終了し、次の行事「生徒会役員選挙」「合唱コンクール」に向けて学校全体は動き始めています。それと並行して、7月3日には、各学級で校則の見直しについて、話し合いをしました。時代の変化にともない「なぜこの校則があるのだろう」と感じられる校則について、自分の考えを発信することはできたでしょうか。グループの友達と一緒に「どう改善すれば良いか」ということを共有できたでしょうか。もうすぐ創立50年を迎える国立三中で、新しい風を吹かせることができることは、あなたたちにとって光栄なことと感じます。あなたたちはまだ1年生ですが、三中の一員として三中のことを考え行動に移せる人たちです。自信をもってさまざまな取り組みに参加してほしいと願っています。

さて、7月4日には期末考査の個票が返されました。自分の目標とする点数や学習時間・内容を振り返り、計画どおりに家庭学習を進められたかを確認しましょう。また、保護者の方に「やりとり帳」の学習計画表のページと個票を確認してもらい、次回はどう取り組むのかを考えましょう。

夏休みに向けて生活目標と学習目標を立てることも大切になります。夏休みには各教科から宿題が出ます。夏休み直前に配布されるわけではなく、授業内で説明があるので、 終業式前から復習・予習を兼ねて夏休みの宿題に取り組んでみてください。

【作文】体育祭を終えて

「体育祭」　　1組代表生徒

体育祭を行う前は、成功しないと思っていました。なぜかというと、練習が始まる前に、「体育祭、絶対つまらない」と思っている人がいたし、体育祭までの期間が短かったからです。

しかし、練習が始まると、真面目に取り組む人が増え、いかだ流しではどうやったら落ちないのかを考えたり、リレーではどのような走順にすればいいのかを考えるなど、作戦をクラスで考えました。ふまれたり、暑い外で走るのは大変だったけど、みんながお互いに協力していたから、良いなと感じました。また、そのおかげか、いかだ流しの練習では、全勝し、学年対抗リレーでも何回か1位を取ることができました。

そして本番当日。朝から大勢の保護者が校庭に入ってきました。どの種目も白熱して、いかだ流しの番がやってきました。はじめのほうは勝っていたが、終盤に何度か落ちてしまい、結果は2位でした。でも、みんな全力を出して、最後まで楽しむことができました。また、みんなで3組を応援したから1組はいいクラスだなと思うことができました。次は1年生全員リレー。1時間かけて走順を決めたし、いかだ流しでは負けてしまったから、この種目だけは勝ちたいと思って挑みました。序盤や中盤は最下位だったけど、最後に巻き返して1位になることができました。

総合結果は最下位だったけれど、リレーで1番を取れたし、みんなで応援し、楽しくやることができたのでよかったです。

「体育祭を振り返って」　　2組代表生徒

私たちにとっては初めての体育祭。最初はわくわくする気持ちより不安な気持ちの方が強かったです。「もし私のせいでこのクラスが負けたらどうしよう」とか「係の仕事でミスしたらどうしよう」とかそんなことを考えてしまっていました。でも、体育祭の練習は思っていたより楽しかったです。それに体育祭をやったら、もっとみんなの仲が深まると思い、だんだんわくわくする気持ちの方が強くなっていきました。

そして本番当日。体育祭の本番の日はすごくよく晴れてくれました。そしていい気持ちのまま体育祭が始まりました。

学年種目の「いかだ流し」では、練習では一度も勝ったことがなかったのに、本番では勝つことができました。「いかだ流し」は一番クラスで協力する種目だと思っていたので、勝った時はすごく嬉しかったです。

もう一つの「全員リレー」は1組に負けてしまいました。3クラスの中で2組全員の100mの合計タイムが一番遅かったので、みんなでバトンパスをすごく頑張ったのに負けてしまって、正直すごく悔しかったです。でも、こういうものも全部含めて、体育祭はすごく楽しかったです。初めての体育祭だったけど、最後は2組が優勝して、すごく嬉しかったです。優勝できたのは、2組が一番団結力があったからだと思います。本当に楽しい体育祭でした。

「心に残る体育祭」　　3組代表生徒

私は、心に残る体育祭にしたいと思って練習に挑んでいました。

6年生の時、運動会がすごく楽しかったので、中学校の行事では、体育祭が一番楽しみでした。体育祭の練習で、チームワークが重要な「いかだ流し」「全員リレー」は、みんなで声かけをしたり、応援したりして協力しあって練習をしていました。学年練習では、それを生かせず順位がさがってしまうことが多くあり、クラスの雰囲気が少し悪くなってしまいました。でも、体育祭実行委員が「いかだ流しのときの馬が進む方向を統一しよう」とか「全員リレーの順番を変更しよう」など、みんなに声をかけられたので、クラスの雰囲気が良くなったりクラスが団結したりしました。体育祭当日、「いかだ流し」「全員リレー」どちらも3位で負けてしまいました。でも、みんなでどんな順位でも喜びあったり、応援したりしてすごく楽しかったです。

体育祭を通して、私は初めて同じ学校になった人でも仲良くなれました。そして、心に残る体育祭になって良かったです。

いじめ防止プログラム

7月4日（火）6時間目に、国立市子ども人権オンブズマンの方に来校いただき、いじめ防止に向けて講演をしてもらいました。これは、国立市内で平成26年から行われている取り組みで、「スクール・バディ」育成のために設けられている催しです。

「スクール・バディ」という言葉ですが、直訳すると「学校の相棒・仲間」という意味です。みなさんはつらいことがあったとき、同じ年代の友達に悩みを聞いてもらっていますか。いじめを防止したり、悩み事を相談するための有志の団体として、皆さんの身近な存在となり生徒同士支え合いをしたいと考え、スクール・バディは活動を続けています。

三中でのバディ活動は、毎月1回の定例会です。バディ新聞でいじめについて考えたりストレス解消のための提案をしたりしています。3月の学習総合発表会では、自分たちで動画を撮影し、舞台発表を行っています。また、他校スクール・バディとの交流会などにも参加しています。活動のすべてを、「いじめを未然に防ぎ楽しく学校生活を送るためのもの」と考え、様々な企画を立て、学校内外で広く活動しています。